

こんな活動もしてます

ブルーベリーのジャムづくり

副理事長 三宅 慶忠



明生園の子どもたちとジャムづくり

しあわせの村の果樹園にはブルーベリーが80株ほどあります。以前はその果実を材料に村内の福祉施設でジャム作りをしたこともありましたが、最近では成るに任せて放置されていました。今年、しあわせの村からグループわに、ブルーベリーの管理と収穫作業に加えて、ジャム加工で収益が図れないかと相談がありました。

ジャム加工、販売は食品衛生上の制約があり、今年は試行的に行うことになり、果樹管理、収穫は会員の8園会が引き受けてくれました。炎天下、下草刈りや水遣りにと精を出して頂いたおかげで、7、8月の収穫は20kg余りもありました。

8月30日に食文5期生の銀の匙グループや8園会の皆さんがジャムづくりに腕を振りました。300g入り瓶が70程出来ましたが、今回は試作品ということで、ジャム作りの方々や、カレッジ事務局、しあわせの村本部事務局の皆さんに賞味して貰い、加工費用としてカンパもありました。

この後も、9月末にかけ

て残りの果実を採取しましたが、台風14号が災いして、収穫は10kgと少量でした。

しあわせの村本部事務局から社会性のある活動にしてはとの示唆もあり、2回目のジャム作りは9月27日、村内の明生園から10名（内先生2名）を招いて、カレッジ調理室でジャム作りをしました。

障害があってもできることをするのは大切なことです。出来上がったジャムをおみやげに大に楽しいひと時を過ごして貰いました。来年以降もブルーベリー活動が続くことを願っています。

グラウンドゴルフ大会

福6ーい 滝野 昭夫

10月22日(土)今にも雨が降りそうな天気のもと、フルーツ・フラワーパークで第1回グラウンドゴルフ大会が開かれました。地元大沢町、長尾町、一般公募、グループわ等から総勢150余名が参加しました。

フルーツ・フラワーパークでは数年前よりグループわと協働で“スロースポーツ”の啓発に努めています。スロースポーツの中でもグラウンドゴルフは、誰でも気軽に出来るため人気が高まっています。

この度、グラウンドゴルフの企画、運営を依頼され何度か打ち合わせをしながら準備を進めてき

ました。

競技は8ホール2ラウンド総打数ストロークプレーとしましたが、初心者ありベテランありとプレーヤーは様々。グラウンドは小石が多く日ごろ腕に自信のある方も、思い通りにボールが転がらず、悪戦苦闘をされていました。

和やかな雰囲気の中にプレーを終わり、成績発表ではグループわの女性が優勝するなど、多くの女性が上位を占めました。とり賞（ホールインワン）はすべて女性でした。豊かな自然環境の中、楽しくプレーが出来ましたことに感謝し、次の開催に繋がりますようお願いしています。



熱戦が繰り広げられたグラウンドゴルフ大会

里山であそぼう

親子で集まれ自然遊び塾

「しあわせの村の里山であそぼう」10月23日(日)シルバーカレッジで、親子



名札づくりの説明を聞く親子たち

で集まれ自然あそび塾が開かれた。あいにくの小雨模様だったが、熱心な親子12組40名のほか、ベトナム人の子ども5人も参加していた。カレッジ園芸室

で、里山で取れたドングリ、枯枝、マツボックリ、ススキの葉などを使って、グループわの皆さんの指導で、ドングリのコマ、小鳥、カブトムシ、キリ

ギリスなど木のオモチを作り大喜びしていた。クリスマス飾りのリース作りに苦勞する親子の微笑ましい光景も見られた。

午後からは雨も上がりカレッジ裏の里山に入り、色着きはじめた秋の紅葉を楽しみながら、それぞれの木の名前や薬になる草などの説明を聞いた。落ち葉を集めて作ったオチバンクを掘り返し、カブトムシの幼虫を発見した歓声も上がった。最後に里山についての感想を話し合った。